

I 自然環境

1. 位置

山形県東置賜郡高島町は、県南部の米沢盆地東部に位置し、東は福島県及び宮城県と、南は米沢市、西は川西町、北は南陽市及び上山市に、それぞれ接している。

山形県の日本海沿岸部には庄内平野が開け、内陸部には、新庄、山形、米沢の各盆地が並んでいる。庄内平野と各盆地群との間には、飯豊山地、朝日山地、出羽丘陵が南北方向に走り、東側の県境には奥羽山脈が連なっている。最上川が山形県内の山系を水源として諸盆地を貫流し、庄内平野から日本海へ注いでいる。米沢盆地は最上川のもっとも上流部にある埋積盆地で、盆地床の海拔高度は 200~300m である。高島町は、米沢盆地の最上川以東の平坦地と、海拔高度 800~1000mの奥羽山脈の陵線部に至るまでの西斜面を占めている。総面積は約 180km² である。

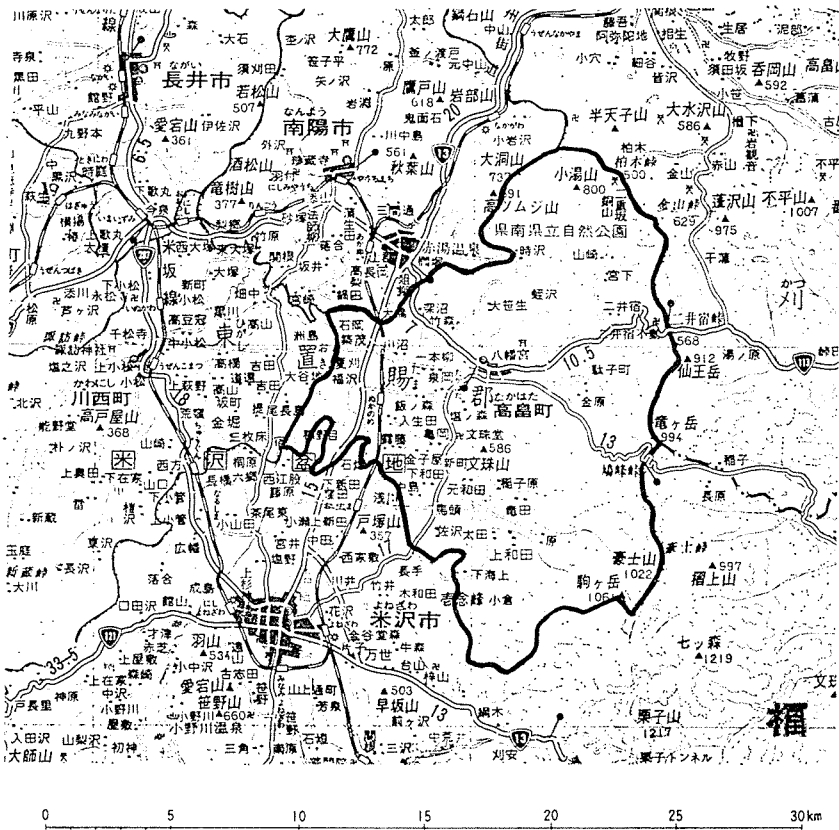


Fig. 1. 調査地域図
Übersichtskarte des Fleckens Takahata

2. 気 候

米沢の月別気温、降水量変化図が示されている。年平均気温は11.1℃、月別平均気温は2月で、-2℃、8月で25℃である。高島町の月別気温図でもほぼ等しい値が得られる。降水は夏に少雨で冬に多雪な裏日本型を示す。冬季には12月下旬から根雪となり、最高積雪深は100～150cmに達する。年降水量は約1600mmである。

高島町西部の低地を占める米沢盆地は、太平洋岸地域とは奥羽山脈によって、日本海岸地域とは朝日山地、越後山脈などによって分断され、内陸地方の盆地特有の気候を示す。高海拔の山脈に囲まれているために、裏日本に多量の雪をもたらす冬の北西季節風や、梅雨季に表日本側に吹き、冷湿で多雨な気候の原因となる「ヤマセ」などの風の影響は弱い。冬季には夜間に放射冷却が行なわれてきびしい冷えこみとなり、夏季には安定した天気と強い日射が日中の気温を上昇させる。

東部及び南部の山岳地帯は、年平均気温は約2℃低下し、冬季に多雪で、台風季には豪雨になりやすい地域である。

高島町の平野部の温量指数は80～95 m. d. (吉良によると75～90 m. d.) で、山岳部では80 m. d. 以下となる。町のほぼ全域がブナクラス域に属し、とりわけ冬季の積雪は裏日本特有のチシマザサーブナ群団の植生を発達させている。

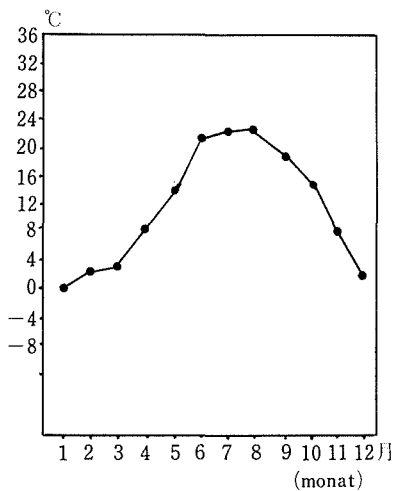


Fig. 2. 山形県における年平均気温の分布
Isothermen der Jahresmitteltemperaturen
in der Präfektur Yamagata.

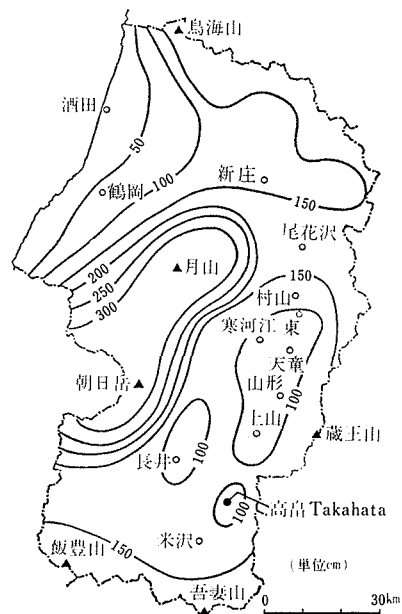


Fig. 3. 山形県における最深積雪深の分布
Isolinien der größten Schneetief (cm)
in der Präfektur Yamagata.

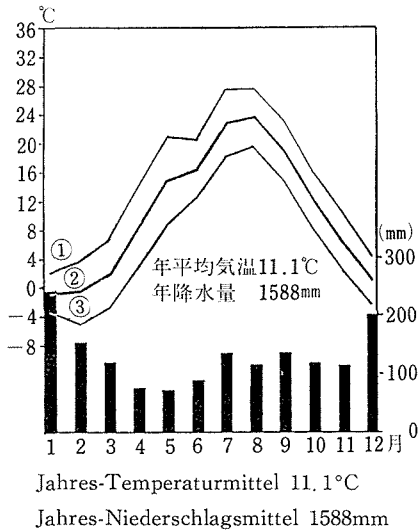


Fig. 4. 米沢における気温と降水量の年変化
(青野, 尾留川 1979)

Jahresgang von Temperatur und Niederschlag
(nach Aono und Birukawa 1979)

- ①日最高気温の平均 Mittlere tägliche
Temperaturmaxima
- ②平均気温 Durchschnittliche Temperatur
- ③日最低気温の平均 Mittlere tägliche
Temperaturminima

3. 地形・地質

高島町の地形は、東側の奥羽脊梁山地の連なる山岳部と、西側の米沢盆地に含まれる平野部とに大別される。山岳部は北の大洞山、小湯山などの丘陵群から、二井宿峠、鳩峰峠の鞍部を経て、南の峻険な豪士山、駒ヶ岳へと続く。平野部は最上川上流域の堆積盆地の一部分にあたる。砂川、屋代川などが西方に扇状地を形成し、最上川に合流する。北部には南陽市の白竜湖付近を含む低湿地帯が広がり、その一角の湯沼には温泉が湧出する。

高島町の地質は、先第三系の花崗閃緑岩を基盤としてこれを不整合におおう新第三系の諸層と第四系の堆積層とから構成される。新第三系の地質は、蔵王火山噴出物の安山岩類が北の町界附近に分布する他は、ほとんどが凝灰岩質である。山地の谷間と低地には沖積層が分布し、その多くは扇状地堆積物である。扇状地を流下する河川がはらん原を作り、この広い平坦地は田畑として利用されている。水はけの良い山麓部は果樹栽培に適し、ぶどう畑が続いている。

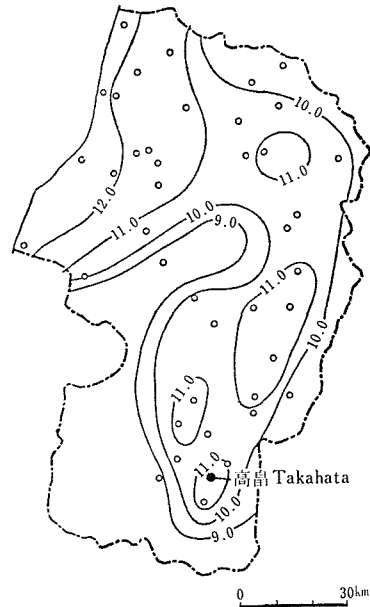


Fig. 5. 高島における1979年の月別平均
気温 (高島町)
Jahres-Temperaturmittel von Takahata-
cho. (in 1979).

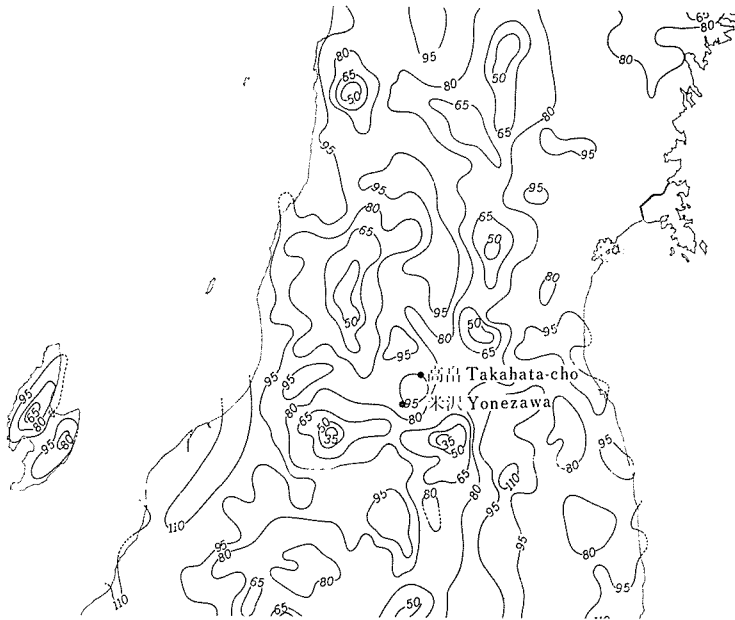
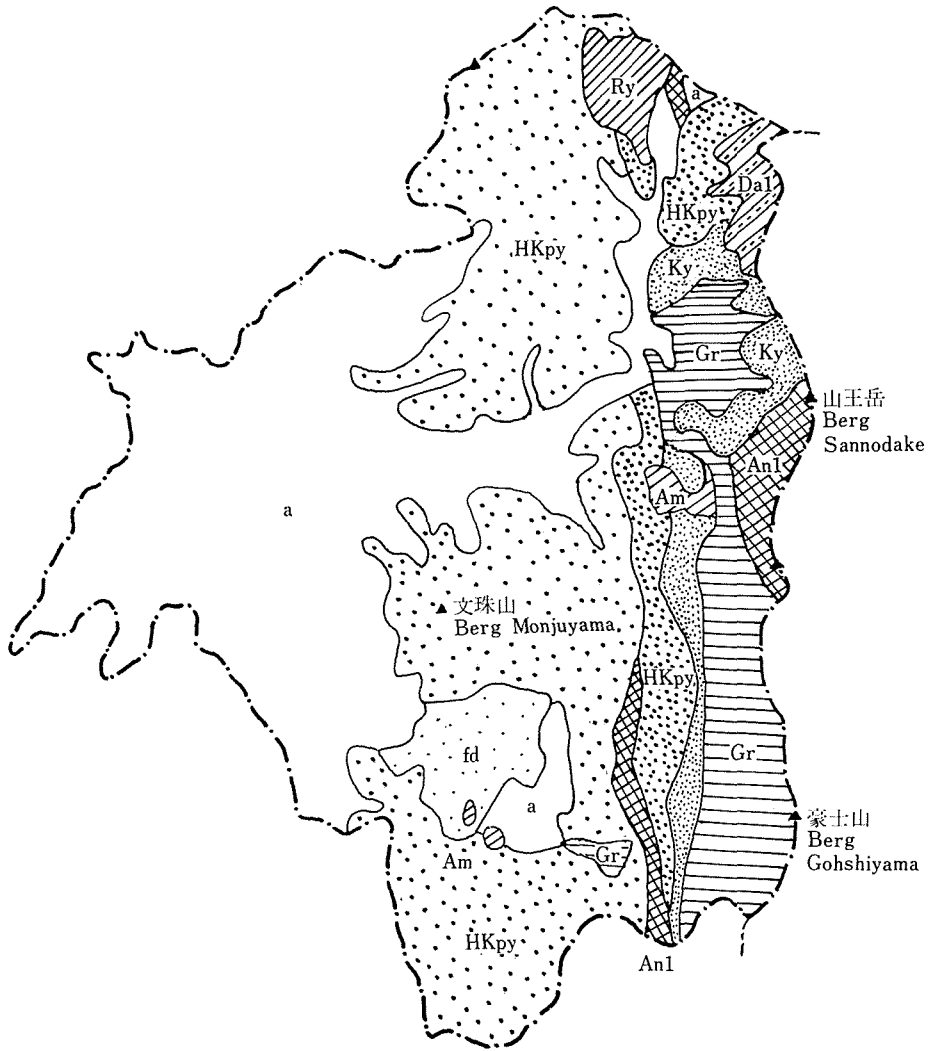


Fig. 6. 高島町および周辺域の温量指数分布図 (森林立地懇話会 1972より)
 Isolinien der Wärme-Indices von Takahata-cho und Umgebung
 (nach Society of Forest Environment 1972).



凡例

第 四 紀 Quartär	現 世	沖積層	a	礫, 砂, 泥
	更新世	段丘埋積層	td	礫, 砂, 泥
	鮮新世	鮭川層	Ry	流紋岩類
新第三紀 Tertiär	三盛層		MM	砂岩, 泥炭, シルト岩
			Dai	石英安山岩類
			Am	安山岩類
	中新世	古口層	HKpy	凝灰岩
		草薙層	KNpy	凝灰岩
			TGr	花崗岩類
		金山層 及位層	KY	礫岩, 砂岩, 凝灰岩
		Gr	花崗岩類	

Fig. 7. 高島町付近の地質図 (神保廳, 山形県)

Geologische Karte von Takahata-cho und Umgebung (nach Jinbo).